

*** 記 事 ***

例会記録

三月例会 平成十四年三月二十三日

順天堂大学医学部九号館八番教室

一、三宅鑛一——断種法史上の人びと(その五)

岡田 靖雄

一、また江戸幕府寄合医師添田玄春の日々の暮し

深瀬 泰且

四月例会 平成十四年四月二十七日

順天堂大学医学部九号館八番教室

一、戦前日本の精神病統計と王子脳病院の患者記録の分析

鈴木 晃仁

一、山脇先生古医道随筆について

酒井 シヅ

五月例会 平成十四年五月二十五日

順天堂大学医学部九号館八番教室

一、江戸医学館における臨床記録

町 泉寿郎・戸出 一郎

一、日本における義肢装着者の生活援護史研究

坪井 良子

例会抄録

江戸幕府寄合医師添田玄春の日々の暮し

深瀬 泰且

「添田玄春日記」

順天堂大学山崎文庫には「添田玄春日記」七冊が収蔵されている。嘉永元年（一八四八）から元治二年（一八六五）までの一六年にわたる添田家の日記であるが、現存するのはわずか八年にすぎない。これは添田家の執事の筆になる日記で、玄春自身による記述ではないので、玄春の社会的な言動や感想、心の動きはしるされていない。その反面玄春をはじめとして、雇人の細々として行動まで詳細にしろされているという別の一面もあって、添田家の客観的な状況をしるにはかえって有利であるという利点もある。この資料からみた玄春の暮しのうち、今回は私的生活を中心に報告した。

添田家の系譜

『寛政重修諸家譜』によると添田の先祖は藤原氏で、樽崎加賀守豊氏にはじまり、のちに毛利氏の麾下となってその一四世の孫の豊寿の代に、京都の添田氏某に医学を学んだという。初代豊寿は通称道策といい、宝永五年（一七〇八）に將軍家宣の子大五郎の侍医となつて、寄合医師に就任した。